

②潤和会記念病院 IT 管理室 室長服部正樹先生からは、Google Apps を導入されることで、院内コミュニケーションがどのように変わったのか、導入の経緯やコストも含めて、お話いただきました。

**Google Appsで実現した  
院内コミュニケーションの充実**

潤和会記念病院  
IT管理室  
服部 正樹

電子カルテ移行に伴い、グループウェアの変更を検討する際、他社と客観的に比較しつつ、どのようなポイントで Google Apps が合理的にメリットであったか、お話いただきました。

**Google Appsとその他の製品との比較**

他社製品	Google Apps
<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェア、ハードウェア費用</li> <li>ライセンス費用（次年度以降も）</li> <li>保守費用</li> <li>5年毎のハードウェア更新費用</li> <li>ソフトウェアバージョンアップ費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則、使用料以外の費用は一切不要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>Webアプリケーションなので簡単</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスマルチ向け製品ベースであり、より簡単</li> <li>GmailやGoogleカレンダーを個人で使っている職員もいる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバハードウェアとソフトウェアのメンテナンスに明け暮れる？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバメンテナンス一切不要</li> <li>システムダウンは0ではないが、<b>院内設置よりはるかに安全</b></li> </ul>

「所有することの無駄、危険」からの脱却  
⇒クラウド・コンピューティング

**Google Apps導入決定！**

- 院内にサーバを置かなくてすむ
- （選定した自分が日常的に利用しており、）操作性は問題ない！
- 院外へも発展可能
- 最悪、やめたくなったらやめられる

あまり期待はしていないが・・・

- 「Googleドキュメント」はMicrosoft Officeの代わりにはならないと思うが、ないよりましだろう
- システムトラブルは0ではないが、今の使用頻度で問題になることはないだろう

後々、嬉しい誤算あり

併せて、Google Apps を使用することで、実現する様々な情報コミュニケーションのやり方について、実際、セミナーの場でも、順和会病院の電子カルテと接続させるなどしながら、分かりやすくデモしていただきました。

### Gmail・Googleカレンダー・Googleトーク

- Gmail**
  - 追加の迷惑メール対策、セキュリティ対策が不要
  - Googleならではの**宛先入力補完機能**が便利
- Googleカレンダー**
  - マウス操作で簡単に予定入力可能
  - グループカレンダー、施設予約
  - 会議に招待した相手に**自動メール送信、参加確認**
- Googleトーク**
  - メール画面から簡単にチャット可能

### Gmail・カレンダー・トーク活用例

メールの処理を行いながら、同時に3人の職員とチャット

カレンダーに登録した予定が近づくとお知らせ

### Googleドキュメント活用例

- システム関連**依頼管理ツール**
- ユーザ登録作業管理ツール**
- 人事**業績管理ツール**

依頼受付サイト → 依頼入力フォーム → システム担当者へメール通知同時にスプレッドシートに依頼内容が展開 → 依頼管理スプレッドシート

依頼を処理しつつ進捗、結果を記入して共有  
結果をメールで報告

サイトに説明文とフォームへのリンクフォームを開き、依頼内容を入力

システム担当者へメール通知同時にスプレッドシートに依頼内容が展開

### Google+ハングアウト活用例

- 院外の医師とカルテ画面を共有

デスクトップ画面を共有

Google+ ハングアウト

院内

院外 (出張中、自宅等)

ハングアウトに招待

ビデオチャット可能 3人以上も可能

閲覧のみ、操作は不可

※院外から自動的に閲覧することはできない

実際、導入に当たっては、職員が新システムを使わざる得ない仕組み作りを意識されました。具体的には、院内の連絡事項については、掲示板を各自読むことを前提とした運用や、病院全体ポータルサイトから部門別のポータルサイトにリンクしたり、各種マニュアル関係を掲載することで、体系的に病院の情報を集約されました。こうして、メールから連絡事項、業務上の情報まで、ポータルサイトに入れば職員各自が得られる仕組みにすることで、院内での定着が進んだそうです。

### とにかく使ってもらうために

**※※強制的にでも使わせる!※※**

PC電源ON 職員カードで認証 → 自動でポータルサイトを表示

**※普及啓発の徹底※**

- IT管理室自らなるべく電話を使わない
- 掲示板に記載された内容を「知っていて当たり前」という態度を取る

### Googleサイト活用例

全体ポータルサイトから部門別ポータルサイトへリンク

IT管理室ポータルサイトではシステム関連の各種お知らせやマニュアル・FAQ等、システム更新履歴などを掲載

総じて、Google アカウントでメール・IDの一括管理できるとともに、サーバ管理から院内のIT職員解放されるメリットは大きく、各種連携が優れている多くのApp s機能を使いこなせば、アイデアと努力次第で、¥6,000/人年というコスト以上の恩恵があるのではないのでしょうか。